

(別紙)

平成 25 年度地域と連携した子どもの体力向上支援事業ふりかえりシート

団体名(**あおぞら広場**)【 **児 童 ・ ○未就学児** 】

1. 事業名

夏休み子どもの居場所事業

2. 主な活動

昨年度の「はすだっこ子ども教室」モデル事業を踏襲し、幼稚園児や未就園児にも拡大し、異年齢集団で身体を使って自由に遊んだり、運動をしたりした。また、体育指導員等による幼児向けの全体指導も取り入れ、楽しい活動になるよう工夫をした。

そして、園庭での固定遊具を使っての体力づくりのプログラムを開発した。今年度 1 回ではあったが親子で実技指導を実施した。

朝礼・終礼をきちんとし、参加者の確認や注意事項の伝達をし、水分補給を取るよう休憩時間を確保した。隣接する市立平田体育館への送り迎えは、幼稚園担当者が責任を持って行った。

3. 成果

本年度より平田幼稚園も夏休みに幼稚園を開放し、保育機能付加型預かり（長時間預かり）保育を実施することになった。午前中の涼しい時間を使って、市立平田体育館や幼稚園の遊戯室、園庭を使って思い切って身体を動かして遊ぶプログラムを作成し、夏季休業中の幼児の体力向上に努めることができた。また、回数は 4 回と少なかったが、「はすだっこ子ども教室」のお兄さん、お姉さんと一緒になって異年齢集団を作り、広い市立平田体育館で遊ぶ機会を作り、幼児はもとより小学生も楽しく体力づくり活動を行うことができた。

4. 次年度以降の展望

(今年度の取組の成果や課題を受けて、将来のビジョン、展開の方法など)

体育指導員の指導を受けながら、夏休みの預かり保育の子ども達に思い出に残る体力づくり向上の活動を提供することができた。子どもに理解のある特別支援補助教諭や幼稚園の 3 歳児補助教諭などが 3 時間 2, 0 0 0 円の賃金で体力づくり向上の指導に当たった。(補助教諭は、夏休み期間は雇用が切れ無給となる)

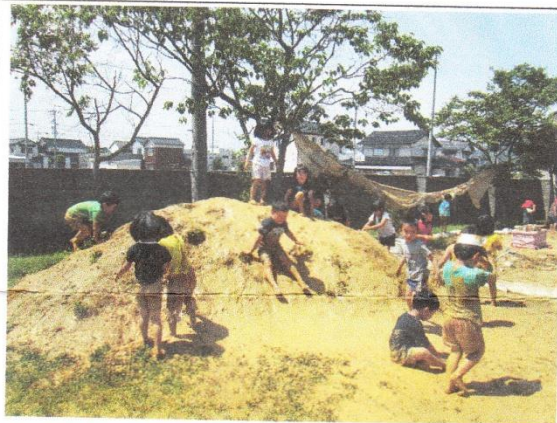
子ども達にとっては、日頃から慣れ親しんだ補助教諭の指導で有効に体力向上の活動を行うことができた。このモデルの成果から、出雲市教育委員会でも預かり保育検討委員会が設置されることとなった。

また、出雲市の幼稚園では、幼稚園運営協議会が設置され、認定子ども園構想も検討されている。そして、預かり保育の充実や地域における子育て支援を行う機能等が検討されるようになった。この事業の成果をもとに、幼稚園の体力づくりの活動を見直し、園庭で固定遊具を使って遊ぶプログラムの開発や保護者と一緒に身体を使って遊ぶ「ふれあい体験」実技研修会等を実施し、家庭と地域、幼稚園が連携をした「就学前の体力向上」の活動を今後とも展開していきたい。

5. 県への要望(この1年間で感じたことをこの機会に何でも！)

モデル事業とは別として、幼稚園の P T A 活動で「未就学児の体力向上」についての実技指導や P T A 研修会の講演講師の紹介などをしていただきたい。モデルの普及の上からも、来年度の P T A 研修活動では、「体力づくり」をテーマにした研修会を実施したい。

【活動写真】 幼稚園の固定遊具や園庭を使って「夏休みの居場所づくり」



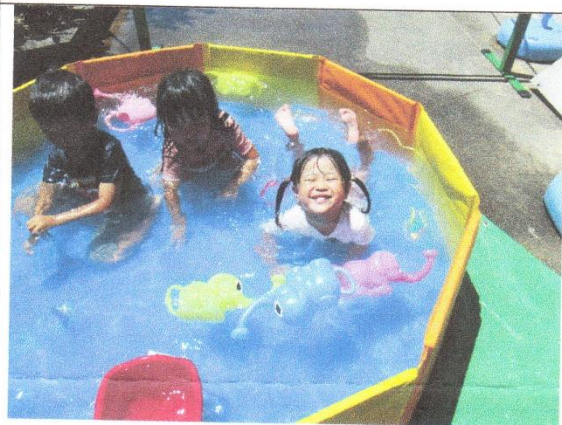
(赤土山でぬるぬる遊び)



(固定遊具で高いぞ!!)



(タイヤの上を歩こう)

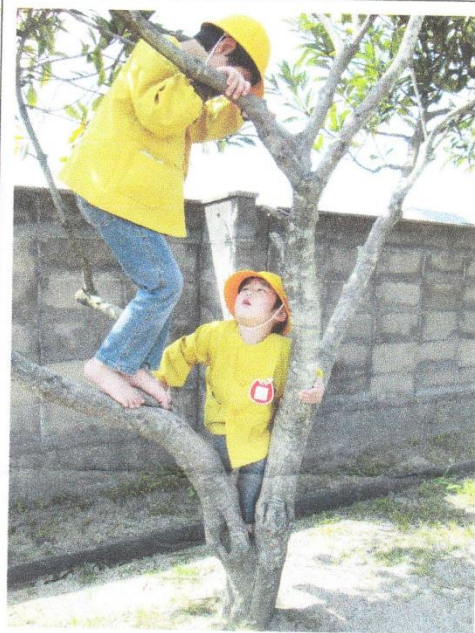


(簡易プールで水遊び)



(砂場で遊ぼう「工事現場」)

幼児の体力作りは自由遊びの中で
自然と身につくものだと考えます。
楽しいのが一番・・・



(木登りだってできるよ)